

ている分野なら理解が速いので、まずはなじみのあるテーマについて英語の [Wikipedia](#) を読んでみましょう。そこからリンクをたどって新聞やブログに行くのもおすすめです。漢字という表意文字のおかげで、日本語は一目でだいたい文章の意味が分かります。でも英語は表音文字なのであまりパターン認識が使いません。面倒でもちゃんと始めから終わりまで文章を読む必要があります。英語を読むというのは、英文字のつながりを頭の中で音読して聴くという行為なので、音が分からないと意味がつかめません。英語を聴くのと同様に流れに沿って意味を理解していきます。決して英文和訳はしません。慣れるにつれて知らない単語が減るので読む速度はグンと上がります。量が質に変化するポイントです。

《会社などでITの最新本を英語で読む必要がある人は、アメリカだと [safaribooksonline.com](#) が便利です。O'ReillyやApress、Addison Wesleyなどの最新本を有料で読むことができます。もちろんAmazon KindleやKindle Appでもかまいません。通常こうした技術書の翻訳には1年かかるので、英語で読めば1年早く情報を手に入れることができます。》

IT業界にはこの業界特有の言葉があります。またIT業界に限らず特定の分野にはその分野でよく使われる単語があります。そうした業界特有の単語を知らないとその業界では働きません。知っている単語の数を増やすには、その業界の新聞記事や雑誌、論文などを読むのが一番です。パソコンやスマートフォンで読むと、知らない単語をすぐその場で英和辞典や英英辞典などで引けるので便利です。録音した発音まで聴かせてくれる辞書もあります。英英辞典のいいところは、言葉の説明もまた教材になっているという点です。つまり一石二鳥です。調べた単語は自分で使うことで引き出しに入ります。例文ごと覚えてすぐその日から自分で使ってみましょう。人の記憶には短期記憶と長期記憶があり、短期記憶から長期記憶に移すにはその言葉を繰り返して使う必要があります。新しい単語の意味を辞書で調べたら、その単語を含む文章または例文をその場で10回つぶやきます。声に出して言う方が自分の耳に入るのでより効果的です。英語でも音読が一番効果のある練習方法です。